

## 信越シリコーン

# プラスチック用 1成分形シリコーンシーリング材 シーラント72(アルコール型)

シーラント72は、空気中の湿気と反応して室温で硬化する弾性シーリング材です。各種プラスチックの接着・シールに最適で、特にポリカーボネートにはプライマーなしで良好な接着性が得られます。また、金属や鏡に対する腐食性がなく、臭いもほとんどありません。ガラスまわりにも安心して使用できます。



ポリカーボネート製アーケードの接着・シール

### 目次

1 特長	2
2 用途	2
3 色の種類	2
4 荷姿	2
5 特性	2
1. 一般特性	2
2. 引張接着性	3
6 硬化特性	4
7 各種被着体への自己接着性	4
8 プライマー	5
1. プライマーの種類	5
2. 処理方法	5
9 施工手順	6
10 取り扱い上の注意事項	7
11 安全・衛生上の注意事項	7
12 消防法による危険物分類	7

## 1 特長

- 1成分形ですから施工が簡単です。
- ポリカーボネートに使用してもストレスクラックが発生しません。
- アルコール型ですので、においがほとんどありません。
- 耐久性、耐候性にすぐれています。

## 2 用途

ポリカーボネート板、アクリル板などのプラスチックまわり、金属まわり、ガラスまわり、鏡の付合わせなど。

## 3 色の種類

グレー、ダークブラウン、アンバー、アイボリー、黒

※色見本があります。ご入用の際は裏表紙の各窓口へご請求ください。

## 4 荷姿

330mlカートリッジ(標準梱包：20本、段ボール箱入り)

## 5 特性

### 1. 一般特性

項目		製品名	シーラント72
硬化前	外 観		ペースト状
	流 動 性		な し
	タックフリー		10分
* 硬化後	外 観		ゴム弾性体
	密 度	g/cm <sup>3</sup>	1.35
	硬 さ	デュロメータA	30
	伸 び	%	600
	引張強さ	MPa	2.0

(規格値ではありません)

【旧JIS単位との換算】引張強度:10kgf/cm<sup>2</sup>=0.98MPa

\* 23℃/50%RHで7日後

JIS K 6249による試験結果

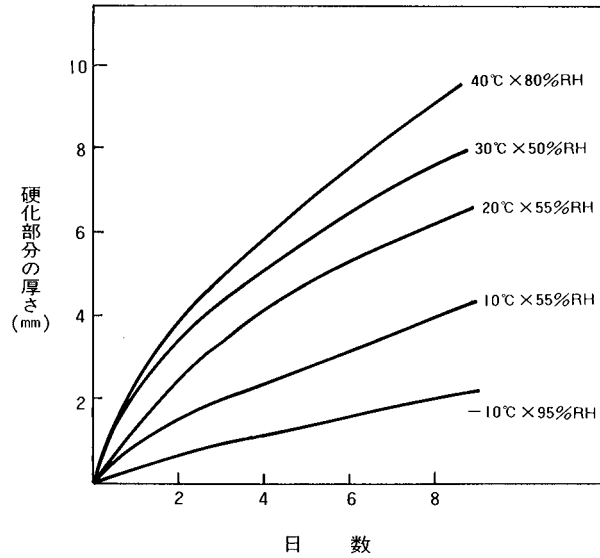
## 2. 引張接着性

引張接着性	被着体	項目	試験温度	50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の伸び
				N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	%
引張	ガラス板	養生後	20℃	0.34	0.75	280
			-10℃	0.41	0.96	337
		加熱後	20℃	0.46	0.92	248
			-10℃	0.58	1.30	333
		水浸漬後	20℃	0.34	0.74	358
		促進暴露後	20℃	0.46	0.82	207
接着	アルミニウム板	養生後	20℃	0.34	0.86	322
			-10℃	0.39	1.00	333
		加熱後	20℃	0.46	0.96	246
			-10℃	0.59	1.30	311
		水浸漬後	20℃	0.36	0.80	478
		性	モルタル板	養生後	20℃	0.39
-10℃	0.46				0.88	185
加熱後	20℃			0.36	0.89	201
	-10℃			0.48	0.91	160
水浸漬後	20℃			0.32	0.75	335

【旧JIS単位との換算】引張応力:10kgf/cm<sup>2</sup>=0.98N/mm<sup>2</sup>  
 \* JIS A 1439 による試験結果

試験成績書第 35882号 (財)建材試験センターによる

## 6 硬化特性



## 7 各種被着体への自己接着性

被着体	接着性	
プラスチック	アクリル	○
	ポリカーボネート	○
	硬質塩ビ	○
	ベークライト	○
	66ナイロン	○
	ウレタン	○
	ポリエステル	○
	エポキシ	○
	ABS	○
	ジュラコン	×
	テフロン	×
	ポリエチレン	×
	ポリプロピレン	×
ガラス	フロートガラス	○
金属	アルミニウム	○
	JISアルミ	○
	電解アルミ	○
	鉄	○
塗装パネル	アクリル焼付塗装	○
	ジュラクロン	○
ゴム	ネオプレンゴム	×
	天然ゴム	×

○：良好    ×：不良

### 〈注意事項〉

プラスチック、ガラス、金属など、ほとんどの材質によく接着します。ただし、よりよい接着力を得るためには、プライマーのご使用をおすすめします。

## 8 プライマー

### 1. プライマーの種類

プライマーは、シーラントと各種被着材質との接着性を向上させる下地処理剤です。  
シーラント72には下記のプライマーをおすすめします。

使用対象	プライマー名	性状 (溶剤)	乾燥時間 20℃(分)	使用量 (g/m <sup>2</sup> )
ガラス、ホーロー、タイル 磁器、金属	プライマーC	淡黄色透明液体 (工業用ガソリン、 トルエン)	15以上	35
石材、モルタル、スレート、 コンクリート、木材	プライマーMT	無色透明液体 (トルエン、 イソプロパノール)	30以上	200
プラスチック	プライマーT	無色透明液体 (トルエン、 イソプロパノール)	15以上	50
フッ素塗料、塩ビ樹脂	プライマー AQ-1	無色透明液体 (n-ヘキサン)	30以上	30

※上記以外の被着材質については、当社にお問い合わせください。

※ポリカーボネートにはプライマーを使用しないでください。

### 2. 処理方法

#### (1) 処理面の清掃

さび、油分、手あか、ごみなどの異物をサンドペーパーや溶剤を浸した布できれいに清掃してください。  
溶剤はトルエン、キシレン、アルコールなどを使用してください。

#### (2) プライマーの塗布

はけで接着面に均一に塗布します。使用后、容器は必ず密栓してください。

#### (3) 風 乾

プライマー塗布後は、必ず所定時間以上、風乾させてください。なお、処理面には指を触れたり、ほこりなどが付着しないように注意してください。

## 9 施工手順

### 1. 施工前の確認

目地の形状や寸法、被着体の材質など施工個所を十分確認してください。

### 2. 被着面の清掃

被着面に付着しているゴミ、油分、汚れなどをからぶきか溶剤を浸した布できれいに清掃してください。溶剤は、トルエン、キシレンなどの溶剤を使用してください。

※アクリル・ポリカーボネートなどのプラスチックの洗浄溶剤には、ノルマルヘキサンをご使用ください。

### 3. バックアップ材の装填

目地の深さを調整し、またシーラントが底部に接着しないように、バックアップ材を装填してください。なお、バックアップ材は、シーラントが接着しないポリエチレン製のものをご使用ください。

※EPT、クロロプレンゴムの一部の製品には、シリコンシーラントを変色、軟化させたり、硬化・接着不良を起こすものがありますのでご注意ください。

※バックアップ材を装填できない場合は、ボンドプレーカーを装填してください。

### 4. マスキングテープ貼り

目地周辺の汚れ防止と充填部の仕上がりをきれいにするために、マスキングテープを貼ってください。なお、テープの粘着剤がガラスやサッシの表面を汚損しないものをご使用ください。

### 5. プライマーの塗布

シーラントと各種被着材質との接着性を向上させるため、推奨のプライマーをご使用ください。  
(5頁プライマーの種類参照)

### 6. シーラントの充填

ノズルを目地幅に合わせて切り、ノズル内部の防湿膜を太い針金などで突き破ってください。つぎに、充填用ガンにカートリッジを装着し、目地内のすみずみまでゆきわたるように充填してください。

### 7. 仕上げ

充填後は速やかにヘラ、コテなどで表面を仕上げてください。

### 8. マスキングテープの除去と清掃

仕上げが完了したら直ちにマスキングテープをはがしてください。目地のまわりにシーラントが付着した場合は、トルエン、キシレンなどの溶剤でふき取ってください。

### 9. 養生

シーラントがタックフリー（指触乾燥）の状態になるまでは、触れないようにご注意ください。

## 10 取り扱い上の注意事項

1. 低温時や多湿時の施工は、硬化・接着不良の原因となりますので避けてください。
2. 施工箇所は、事前に水分、油分、汚れなど完全に除去してください。  
アクリルなどプラスチックの洗浄溶剤には、ノルマルヘキサンをご使用ください。また、他の施工部は、トルエン、キシレン、などの溶剤をご使用ください。
3. シーラント72は空気中の湿気と反応し、表面から硬化します。したがって硬化速度は、温度や湿度などの作業環境により異なりますのでご注意ください。
4. 開封したカートリッジは原則として使い切るようにしてください。残った場合は、完全に密閉して、湿気の少ない場所に保管してください。
5. 製品(含プライマー)は、直射日光を避け、湿気の少ない涼しい場所(5℃～25℃)に保管してください。
6. 施工用具は、使用后直ちに清掃、洗浄し、調整しておいてください。
7. 石材、タイル、ホーロー、塗装パネルなどの雨水がかかる外壁目地にシリコンシーラントを使用すると、目地周辺が汚れることがありますので、ご注意ください。
8. 表面に塗料は付着しません。
9. エアーガンを使用する場合は、0.3 MPa(3 kgf/cm<sup>2</sup>)以下でご使用ください。
10. SSG 構法には使用しないでください。

## 11 安全・衛生上の注意事項

1. 作業時は、換気を十分に行ってください。なお、プライマー施工時等において換気が不十分な場合は、有機ガス用防毒マスクの着用をお勧めいたします。
2. 未硬化状態のシーラントは、皮膚・粘膜を刺激しますので、目に入れたり、長時間皮膚に付着させたままにしないでください。誤って目に入れた場合には、直ちに流水で15分以上洗い流した後、医師の診断を受けてください。皮膚に付着させた場合には、すぐに乾いた布などで拭き取った後、せっけん水で洗浄してください。
3. 作業中、手で目を拭いたりしないように十分ご注意ください。また保護メガネを使用するなど、適切な予防措置を実行してください。
4. コンタクトレンズ着用者は、未硬化状態のシーラントを誤って目に入れた場合、目にコンタクトレンズが固着することがありますので、十分注意してください。
5. 子供の手の届かないところに保管してください。
6. シーラント72は硬化時にアルコールを発生しますので、ご使用の際には換気を十分に行ってください。使用時に不快を感じた場合には、空気の新鮮な場所へ移動してください。
7. ご使用前に製品安全データシート(MSDS)をお読みください。MSDSは、担当営業部署までご依頼ください。

## 12 消防法による危険物分類

1. 下記のプライマー製品は、消防法の危険物に該当しますので、火気厳禁など、法に準じた保管・取り扱いが必要です。

第4類	第1石油類	プライマーC プライマーAQ-1 プライマーT プライマーMT
指定可燃物	合成樹脂類	シーラント72

2. シーラント72は危険物に該当しませんが、3,000kg以上保管する場合には、指定可燃物(可燃性固体類および合成樹脂)に該当しますので、表示等、保管上の注意が必要となります。

## シリコンシーラントについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

営業第四部 ..... ☎(03) 3246-5153

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 日本興亜肥後橋ビル ..... ☎(06) 6444-8226

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 近鉄新名古屋ビル13階 ..... ☎(052) 581-6515

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビルディング ..... ☎(092) 781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。  
また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途はいかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえで使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧め致します。
- 本資料を転載される場合は当社シリコン事業本部の承認を必要とします。



当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所 ISO 9001 ISO 14001  
(JCQA-0004 JCQA-E-0002)

直江津工場 ISO 9001 ISO 14001  
(JCQA-0018 JCQA-E-0064)

武生工場 ISO 9001 ISO 14001  
(JQA-0479 JQA-EM0298)

<http://www.silicone.jp/>